

環境経営レポート

(運用期間: 2023年9月1日～2024年8月31日)

第04号



有限会社 豊栄建設

作成日: 2024年10月18日

目 次

I. 組織の概要		P 1
II. 実施体制		P 2
III. 環境経営方針		P 3
IV. 環境経営目標		P 4
V. 環境経営計画		P 5
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標		P 6
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価, 及び次年度の環境経営計画		P 7
VIII 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無		P 8
IX 当社の取組み		P 9
X 代表者による全体の評価と見直し・指示		P 10

I 組織の概要

1. 事業者名 有限会社豊栄建設
2. 代表者氏名 代表取締役 佐藤忠弘
3. 所在地 本社：静岡県浜松市中央区初生町385番地の2
4. 事業活動 建設業（土木工事業）
5. 従業員数 7名
6. 環境管理責任者 春日秀博
EA21事務局 春日秀博
7. 連絡先 TEL (053) -436-6871 FAX (053) -436-6001
E-mail: hoei@yr.tnc.ne.jp

8. 建設業許可
建設業
静岡県知事許可（般一6）15443号
許可業種：土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業
許可年月日：2026年11月13日 有効期限：2031年11月12日

産業廃棄物収集・運搬業（積替え及び保管行為を除く）
静岡県 第02201125124
許可品目：廃プラスチック類（石綿含有廃棄物を含む）、金属くず、ガラスくず、
コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有廃棄物を含む）
がれき類（石綿含有廃棄物を含む）、紙くず、木くず、繊維くず
許可年月日：2021年2月10日 有効期限：2026年2月9日
※自社運搬のみ

9. 事業の規模
① 設立（所在地） 1990年9月
② 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	90	90	108	98
従業員	人	7	7	7	7
事務所床面積	m ²	49.3	49.3	49.3	49.3
倉庫床面積	m ²	308	308	308	308
資機材置場	m ²	410	410	410	410

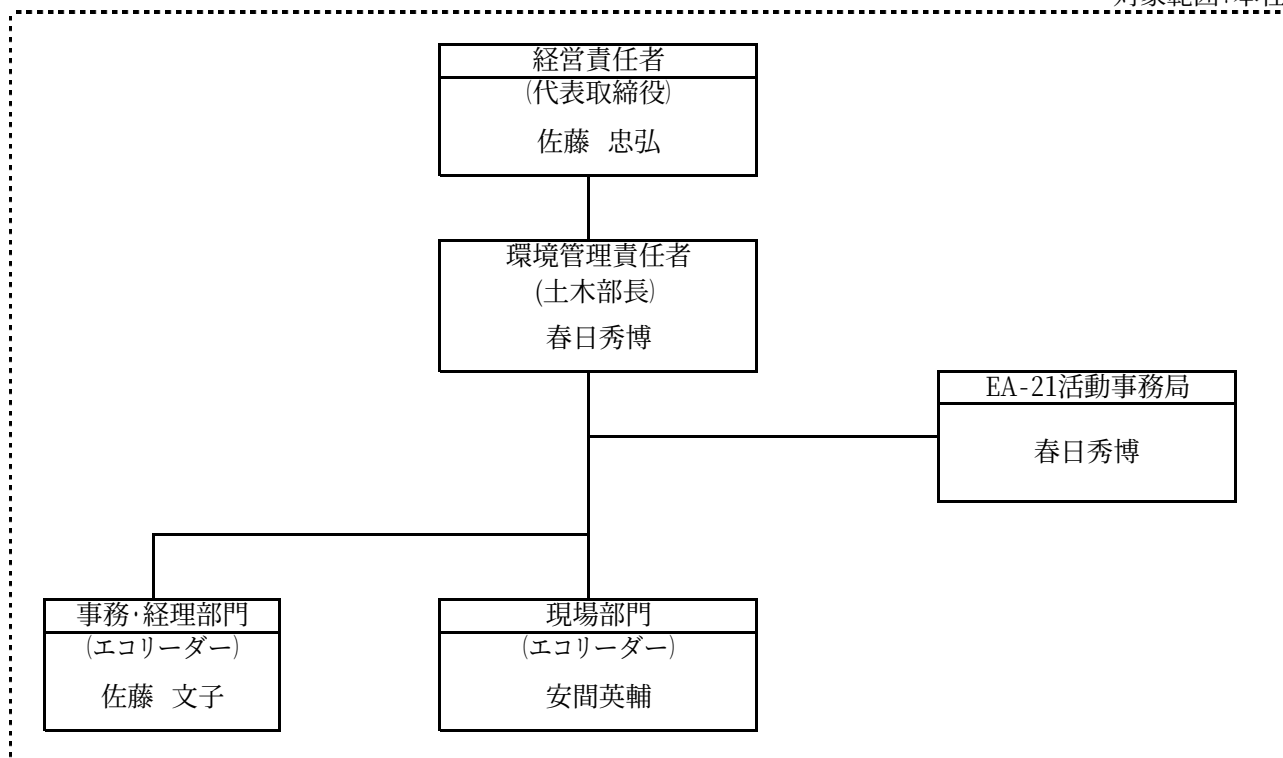
10. 事業年度
9月1日～翌年8月31日
11. レポートの運用期間及び発行日
環境経営レポート運用期間（2023年9月1日～2024年8月31日）
環境経営レポート発行日（2024年10月18日）
12. 認証・登録の対象範囲
全組織・全活動
活動：建設業（土木工事業）
対象組織：本社

Ⅱ 実施体制

作成日:2023年10月1日

作成者:佐藤忠弘

対象範囲:本社



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑥ 全体の評価と見直し
- ⑦ 効率的な実施体制の構築と全従業員への周知

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規等最新版管理
- ⑥ 環境上の緊急事態の想定と対応策の作成。全体での試行・訓練の実施
- ⑦ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育

III 環境経営方針

《環境理念》

当社は、有限会社豊栄建設の社是・社訓、経営理念に基づき、本業である建設工事の事業活動を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。安全で安心していただける工事を積極的に取り組みお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

《環境方針》

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。
 - ① CO2削減の為の省エネ活動に取り組みます。
 - ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
 - ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
 - ④ 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
 - ⑤ 建設リサイクル法による適正処理をいたします。
 - ⑥ 資料や添付書類のペーパーレス化により紙の削減に取り組みます。
 - ⑦ 環境に配慮し、電気やガソリンなど使用を節制に取り組みます。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動経営計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制を遵守致します。
4. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。
また、社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます。
5. 環境経営を継続的に改善します。
ICT化による設計、工事の効率的運用を図ることにより、請負建設工事の増加を図ることなど、環境経営を推進します。

制定年月日 2022年10月1日

有限会社 豊栄建設
代表取締役 佐藤 忠弘

IV 環境経営目標

1. 短期及び中期の環境経営目標

項目		単位	基準年度	目標年度				
			2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
			2020年9月 ～ 2021年8月	2022年9月 ～ 2023年8月	2023年9月 ～ 2024年8月	2024年9月 ～ 2025年8月	2025年9月 ～ 2026年8月	2026年9月 ～ 2027年8月
二酸化炭素排出量(事務所)		kg・CO2	26,005	-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%	-1.5%
内訳	電力	kWh	2,770	-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
	ガソリン	L	1,831	-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
	軽油	L	7,967	-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	kg	24.8	実態把握す	-1.0%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
水道使用量		m ³	149	-0.5%	-1.0%	-1.5%	-2.0%	-2.5%
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	99.2	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
	環境配慮工事の提案	件	—	実態把握	+1件	+2件	+3件	+4件
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	件	-	実態把握	+1件	+1件	+1件	+1件
地域貢献	近隣の道路清掃	件	1回/月		1回/月	1回/月	1回/月	1回/月

<備考>

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)ー2019年度実績ー2021.1.7環境省・経済産業省公表の中部電力㈱の調整後の排出係数である0.452(kg-CO2/kWh)を使用した。
- 一般廃棄物排出量の基準値については、2022年度実績値を基準にしています。

V 環境経営計画

(暫定期間:2023年9月～2024年8月)

目標	区分	項目	責任者	活動項目	スケジュール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	春日秀博	① 消灯の徹底(1回／週チェックする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間(2023年9月～2024年8月)の環境経営目標の実績

項目		単位	運用期間					
			2020年9月 ～ 2021年8月	2023年9月 ～ 2024年8月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	評価
二酸化炭素排出量の削減		kg・CO ₂	26,005	-1.0%	25,745	22,697	-12.7	○
内訳	電力	kWh	2,770	-1.0%	2,742	4,264	53.9	×
	ガソリン	L	1,831	-1.0%	1,813	2,540	38.7	×
	軽油	L	7,967	-1.0%	7,887	5,214	-34.6	○
廃棄物の削減	一般廃棄物	kg	24.8	-1.0%	24.6	24.2	-2.4	○
水道使用量の削減		m ³	149	-1.0%	148	157	5.4	×
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上	%	99.2		90%以上	100		○
	環境配慮工事の提案	件	未把握		+1	+1		○
環境経営の推進	ICT化による請負工事数	件	未把握		+1	+1		○
地域貢献	近隣の道路清掃	件	1回/月		1回/月	1回/月		○

<備考>

(1) 実績削減率＝〔(実績値-基準値) / 基準値〕×100

(2) 評価方法 → ○印:達成, △印:ほぼ達成, ×印:未達成

<評価>

ガソリン	原因	遠方の現場が多く、車両使用頻度が増えてしまった。
	是正	遠方の工事現場に向かうときは、車両に乗り合わせたり宿泊などを検討する。
電力	原因	エアコンを無人でも停止せず運転してしまい、電灯も点灯し続けてしまった。
	是正	節電に心掛け、使用していない場所などのエアコンをこまめに停止するようにする。
水道使用量	原因	公共事業や民間工事で道路工事等の受注が多かったため、土砂の飛散防止のために散水したため増加してしまった
	是正	今後についても、節水に努める。

②次年度の環境経営目標

IV. 環境経営レポートの5ページの「環境経営目標の暫定期間」の通り

VII 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(暫定期間:2023年9月～2024年8月)

目標	区分	項目	責任者	活動項目	評 価		今後(次年度)の取組
					評価	内容	内容
二酸化炭素排出量の削減	購入電力	照明	春日秀博	① 消灯の徹底(1回／週チェックする)	○	掲示→徹底されている	継続実施
				② 人感センサーの導入(3箇所に設置)	○	実施された	－
				③ ブルスイッチ化(5箇所を変更)	○	実施された	－
				④ 高効率照明機器の導入(LED化10台)	△	電球を一部LED化	継続実施
		空調	春日秀博	① 温度設定夏28℃ 冬20℃	○	表示、朝礼時説明	継続実施
				② クールビズ、ウォームビズ	○	表示、朝礼時説明	継続実施
				③ フィルター定期清掃	○	月一度実施	継続実施
				④ 使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
				⑤ 遮光対策			新規取り組み
				⑥ 断熱化対策			新規取り組み
				⑦ 新規空調設備への代替え、及び導入			新規取り組み
		資源活用	佐藤忠弘	① 建設材料の工夫と再利用	○	実施された	継続実施
				② 発生土の場内利用と再利用の工夫	○	実施された	継続実施
				③ 燃料油等の揮発を抑制する	○	実施された	継続実施
		その他	佐藤忠弘	① 太陽光発電導入検討	×	未実施	次年度計画反映
				② 自動販売機の省エネ対策検討	×	未実施	次年度計画反映
				③ 冷蔵庫の保冷対策	○	実施された	次年度計画反映
	ガソリン・軽油	乗用車 トラック ホーク	春日秀博	① エコドライブ	○	エコドライブカード配布	継続実施
				② エコ整備	△	省エネオイルOK	継続実施
				③ 日常・定期点検の実施	○	日常点検マンネリ化	継続実施
④ 省エネ車の導入検討				△	計画中	次年度計画反映	
⑤ 排ガス対応車の導入検討				△	計画中	次年度計画反映	
重機		春日秀博	① アイドリングストップ	○	施工計画反映・徹底されている	継続実施	
			② 省エネ重機の使用	○	施工計画反映・徹底されている	継続実施	
灯油	ストーブ	佐藤忠弘	① こまめな温度調整をする	○	実施された	継続実施	
公共工事 50百万円	削減計画 立案		① 見積ソフトによるCO2把握	○	見積ソフト導入	継続実施	
			② 施工計画に削減計画反映と活動展開	○	2件計画作成	継続実施	
廃棄物排出量の削減	事務所	佐藤文子	① コピー用紙の両面使用	○	裏紙使用	継続実施	
			② 集約化購買	○	徹底されている	継続実施	
			③ FAXのPDF化	○	徹底されている	継続実施	
			④ 3Rの実践	○	徹底されている	継続実施	
			⑤ 廃棄物の分別とリサイクル	○	分別基準と実施	継続実施	
			⑥ 封筒の再利用	○	実施済	継続実施	
			⑦ 名刺の自社製作	○	作成中	継続実施	
			⑧ エコキャップ運動の参加	○	分別処理に取り組んでいる	継続実施	
	現場	春日秀博	① 廃棄物の分別化	○	徹底されている	継続実施	
			② 分別ルート新規開拓	○	新規プラスチック販売ルート	継続実施	
			③ 電子マニフェストの導入	△	一部導入	継続実施	
			④ 仮設資材、用具のリユース化	○	2社開拓	継続実施	
水道使用量の削減	上水	佐藤文子	① 節水表示	○	表示OK	継続実施	
			② ストップガンの取り付け	×	取付が遅れている	継続実施	
			③ 節水こまの取り付け	△	一部実施	継続実施	
環境に配慮した自社の取り組み	建設副産物リサイクル率向上		佐藤忠弘	① 間伐材使用バリケードの購入検討	○	検討実施	継続実施
				② リサイクル材の購入検討	○	検討実施	継続実施
	環境配慮工事の提案		佐藤忠弘	① 特定工事での施工計画への反映の検討	○	検討実施	継続実施(重点項目)
				② 環境配慮工事の提案の検討	○	検討実施	継続実施(重点項目)
環境経営の推進	ICT化による請負工事数		佐藤忠弘	① ICT化による請負工事を増やす	○	実施	継続実施
地域貢献			佐藤忠弘	① 花いっぱい運動	○	月1回花壇の整備	継続実施
				② 近隣道路清掃	○	月1回作業場前道路清掃	継続実施

<備考>

(1) 評価判定:○(良'できた), △(まあまあできた), ×(できなかった)

VIII 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2024年10月10日

評価者 環境管理責任者 春日秀博

法規・条例・規制			条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守評価
義務	法律・条例	廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	第6条の2第6項	市町のルールに従った分別と搬出及び業者委託	業者委託時は許可証確認(契約書作成が望ましい)	○
			第12条第2項	廃棄物の悪臭・飛散・地下浸透防止	保管場所での環境被害防止	○
			第12条第2項	産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	掲示板設置(60cm×60cm以上の大きさ)	○
			第12条第5項	産業廃棄物運搬業者並びに処分業者との委託契約	契約書の締結及び保存	○
			第12条第9、10項	産業廃棄物多量排出事業者の処理計画及び実施状況報告	6月30日までに許可権者に報告(前年度発生量が千トン超のとき)	○
			第12条の3第1項	マニフェストの交付	A票(委託時、電子マニは3日以内)	○
			第12条の3第2、6項	マニフェストの保管	A票～E票:5年間	○
			第12条の3第6項	マニフェストの期間内返却の確認	B2及びD票:90日以内、E票:180日以内	○
			第12条の3第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告	6月30日までに許可権者に報告(電子マニは猶予)	○
			第12条の3第8項	産業廃棄物管理票の期間内未返却時の許可権者への報告	返却期間終了後30日以内に許可権者に報告	該当なし
			第14条第2項	収集運搬業許可の許可期限の確認	許可期限前に更新手続き	○
			第14条第12項(第12条第1項)	処理基準の遵守(廃棄物の悪臭・飛散防止等)	車両荷台にシートで覆う等	○
			第14条第12項(第12条第1項)	収集運搬車両への表示	産業廃棄物収集運搬車・名称・統一番号を車両両側面へ表示	○
			第14条第17項	帳簿の備え付け及び5年間の保存	業務年月日、排出者名、管理票番号、数量、運搬先等を記載した帳簿	○
			第14条の2第3項	変更届の提出	役員・車両等に変更があったとき(10日以内)	該当なし
		浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第8条	産業廃棄物管理責任者の設置	資格は問わない	○
			第10条	実地確認の実施と記録保存	処分委託先の年1回の実地確認と記録作成5年間保存(委託先が優良認定業者であるときは免除)	○
		静岡県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	第22条	前年度における収集運搬実績の報告	6月30日までに知事に報告(電子マニ分も含む)	○
		建設リサイクル法(建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	第5条	建設業者の責務	分別の励行、リサイクルの推進	○
			第9条	対象建設工事受注者又は自主施工者の分別解体等の実施	解体工事・床面積合計80㎡以上 新築・増築工事・床面積合計500㎡以上 その他の工作物に関する工事(土木工事等—請負代金額500万円以上)	○
			第10条	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに市長に届出書を提出	○
			第12条	対象建設工事受注者の発注者への届出事項の説明		○
			第16条	対象建設工事受注者の再資源化等の実施		○
			第18条	対象建設工事の元請業者による発注者への特定建設資材廃棄物の再資源化工事等の完了報告	発注者への完了報告	○
		騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	バックホウ(原動機定格出力80KW以上)を使用する作業	該当なし
			第15条	特定施設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	
		振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出	くい打機	該当なし
			第15条	特定施設の届出改善勧告及び改善命令	規制基準の遵守(指定地域・時間帯規制)	
		家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電(テレビ・冷蔵庫他)廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし
		自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	第8条	使用済自動車の引渡義務		該当なし
			第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払(廃車時)	
		フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務	該当なし
	静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第71条	騒音に係る特定建設作業の実施の届出(工事開始7日前)	鉄骨及び橋りょうの組み立て作業	該当なし
			第88条	振動に係る特定建設作業の実施の届出(工事開始7日前)	くい打機(振動規制法の特定建設作業に準ずる)	該当なし
責務	法律	リサイクル法(資源の有効な利用の促進に関する法律)	第4条	指定再資源化製品のリサイクル(適正廃棄)	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	該当なし

<備考>

- (1) 遵守評価：○(遵守)，×(非遵守)，該当なし(当該取組期間において該当する事例なし)
- (2) 「該当なし」とは、本取組期間において該当する案件がなかったことである。

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

IX 当社の取組み

《社内注意書きで社員の意識づけ》



《雨水を溜め、水道費削減》



《資源ゴミの分別》



IX 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成 2024年10月16日

1・見直し 関連情報	項 目	確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1 エコアクション21文書	■ 記録・文書として作成いたしました。
	2 環境経営目標及び目標達成状況	■ 軽油以外減少できず、計画変更を検討します。
	3 環境経営計画及び取り組み実施状況	■ 継続実施していきます。
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	■ コンプライアンス遵守していきます
	5 外部コミュニケーション・対応記録	■ 特に問題ありません。
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	■ 問題点の是正と現在達成中事項も目標継続していきます。
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	■ 継続実施していきます。
	8 その他 ()	□

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	運用を開始して3年が経過したが、軽油は現場努力によって使用量が削減が出来ている。しかし、工事現場が県外など遠方が多く、現場に向かうためにガソリンの使用量増えてしまい、削減をすることが出来なかった。 また、社員には節電や節水を心掛ける様にスイッチや蛇口の近くにステッカーを貼って注意喚起を促していたのだが、冬の寒さと夏の暑さでエアコンの使用量が増えてしまったり、水道も雨水を溜めて活用をしていたがそれよりも水道の使用量が上回ってしまった。 来季に向けて、社員への再度教育と徹底的に周知をし、今後如何に使用量が削減できるか計画の見直しと実現可能な目標設定を検討するように環境管理責任者に通達を行った。 2024年10月16日 有限会社 豊栄建設 代表取締役 佐藤 忠弘		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ 無	
	2 環境経営目標	有 ・無	現在の目標値を下げ、目標達成の実現を数値を見出すようにする
	3 環境経営計画	有 ・無	水道やガソリン、電気等を如何に使用量を減少させる計画が必要である
	4 環境に関する組織 (実施体制含め)	有・ 無	
	5 その他のシステム要素	有・ 無	
	6 その他 (外部への対応)	有・ 無	